

飯盛物語 3



学校教育目標

「命をだいに 人をだいに 自然をだいに美しく」

～やる気(心) 思いやりの心 たくましい心の育成～

飯盛中テーマ「自立 創造 貢献」

R7年度の合言葉「日々安心！」

～生徒一人ひとりに居場所があり

日々安心して頑張れる教室に！～

第19話 令和8年1月14日発行

校長 池田 英二

3学期スタート！！

14日間の冬休みも終わり「3学期始業式」を迎えました。

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様、関係各位の皆様、本年も本校の教育活動に、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



3学期の始業式（1月8日木曜日）

始業式の校長の話では、令和8年のスタートにあたり『人として「できないと思う自分」「やらない自分」を捨てて「できる自分」「やる自分」へと成長することの大切さについて、ビリギャルの小林さやかさんの実話を通して子どもたちと考えました。

さやかさんは、当時高校2年生でしたが、全然勉強をしていなくて、小学4年生くらいの学力でしたが、その後1年間の一生懸命な努力で難関大学（慶応義塾大学）に現役で合格しました。

さやかさんは、塾の先生である坪田先生と出会い、指導を受けて、勉強の面白さに気づき大変身しました。その変身の方法は、自分がなりたい姿を思い浮かべながら、「このようになりたいからこう努力する」と細かい具体的な目標を決めて、頑張るという方法でした。そして、その目標が達成できたら、次の少し高い目標を決めて頑張るようにしました。そうすることでさやかさんは、少しずつ変身しました。そのような努力を繰り返して難関大学に合格したのでした。

私は、さやかさんのように、自分の可能性を信じて、目標を立てて努力を続けると、飯盛中学校の生徒ならば、誰でも良い方向に大きく変身できると信じています。そのためには、生徒の皆さんが自分の心に「自分で頑張ろう」という火をいつ着けるかにかかっています。それが今なのです。

具体的に言えば「英語のテストで満点を取りたいので、自学ノートに英単語の練習1日1ページを3日間やって覚える」というように具体的な目標を立てます。その目標が達成出来たら、「今度はこれを1週間続ける！」また達成できたら「今度は1日2ページを2週間続ける。」

このようにして、勉強量を増やし、階段を1段1段登るように、目標を1つずつ高くしながら、達成していくことで、心の中に、「やった！私はできるんだ！ 僕にもできるぞ！」という自信がつかます。

このように、小さな目標を立てて、その目標を達成して、少しずつ変身していけば、これから皆さんの大切な夢に一步步近づいていくことができるはずです。飯中の皆さんには、この3学期に、「できないと思う自分」、「やらない自分」を捨てて、今から「できる自分」「やる自分」へと、大きく変身してほしいと思っています。勉強だけでなくスポーツでも全く同じです。自分の目標を立てて、今できることから頑張ってみてください。

このような話をしました。飯盛中学校では、3学期は「学力向上の学期」としてしっかりと取り組んでいきます。

「学力向上」のために一番大切に効果的な取組は、家庭学習の充実です。ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

始業式学年代表の言葉（1月8日木曜日）

○1年1組 平野 めいさん 「3学期の抱負」



冬休みが終わり、今日から3学期が始まります。私達1年生の2学期までの課題は2つありました。1つ目は、授業中に私語が多いことです。先生がいない場面や班活動などの場面では、関係のない話をすることもありましたが、2学期には、この課題に対して意識している場面が多くなったと思います。例えば、ワークを解く時間に私語をせず、自分のすべき課題に集中することができました。また、12月の目標である「私語をなくそう」では、私語を減らすための活動がありました。2学期後半には、各授業で私語をしないように、真剣に取り組み、集中力を高めて授業を受けるようになったと思います。まだまだ、私語はゼロにはなっていないので、先生がいてもいなくても、私語をしないように気をつけていきたいです。2つ目は、「めりはり」です。授業が始まっても、なかなか切り替えができておらず、なんとなくダラダラしてしまう場面がありました。前の授業が長引いた際にも、適切な行動ができず次の授業に遅れてしまうことがありました。そんな私達に対して、先生方から「めりはり」についての指導がありました。指導後には、どんな行動をしたらいいのかを考え、行動に移せることが増えました。2学期は、合唱コンクールやウォークラリーなど、みんなで協力する行事が多くありました。その中でも、合唱コンクールの練習では、誰一人ふざけることなく取り組むことができ、一致団結することができました。また、ウォークラリーでは、地域の方々と話す際に礼儀を忘れずに、普段の話し方との「めりはり」をつけ、失礼のないように話すことができ、たくさんの行事を通して人として成長することができたと思います。3学期は、「学力向上」を目標にしたいです。そのために授業と休み時間の間は、ダラダラせずに、「めりはり」をつけて行動したいです。また、様々な場面で、1年生の力を合わせて、成長していきたいです。そして、次の学年に向けての準備を進めたいです。2年生になる前に、先輩になるという自覚をもち、何事にも真剣に取り組んでいきたいです。今年は午年（うまどし）です。学習面でも生活面でも、馬のように前向きに、カッコいい2年生になれるような「2年生へのゼロ学期」にしたいです。1人では、1馬力ですが、1年生全員で力を合わせて100馬力にも200馬力にもしていきたいです。



○2年2組 藤本 湊君 「3学期の抱負」

僕は3学期に頑張りたいことが3つあります。1つ目は、学級全体で休み時間と授業とのめりはりをつけ、学校行事などで笑顔が多い雰囲気の学級にしていきたいです。2学期は授業中に、居眠りや私語が多く、授業に集中できなかったり、ケンカがあったりしたからです。2年生の締めくくりの学期として、やるべきことを自分で見つけ、やり遂げることができる学級にしていきたいです。2つ目は、「学力向上」です。3年生に向けて、苦手教科をなくしたり、得意教科を伸ばしたりするために、みんなで自主学習をして授業に集中すれば、全員の学力が向上していくと思います。3年生では、勉強が難しくなるので、クラスみんなで協力して勉強を頑張っていきたいです。3つ目は、周りの人との関わりを一人ひとりをもっと大切にしていくことです。日々のあいさつや感謝の気持ちを忘れず、全ての先生方や友達と良い関係を築ける学年にしたいです。そのためには、自分から進んであいさつをしたり、NGワードを使ったりしないようにしたいです。そのようにして、相手が嬉しくなるような言葉を学年のみんなが使えるように心がけていきたいです。これら3つのことをみんなで守っていき、3学期には笑顔があふれる学年にしたいです。



○3年2組久保 馨士朗君 「3学期の抱負」

今日から3学期が始まりました。3学期は、一年の中で一番短い学期ですが、一番大切な学期です。そこで私は目標を2つたてました。1つ目は、勉強です。3年生にとっての3学期は、入試に向けた最後のまとめをする時期です。苦手だった教科を復習し理解を深めることで自分の学力をさらに伸ばすことができると思います。しかし合格するまでは不安や緊張を感じることも多く、勉強したくないと思うこともあると思います。それでも、これまで自分が頑張ってきたことを信じて最後まで全力を尽くして頑張りたいです。2つ目は、ラグビーです。今年で中学ラグビーが終了します。数か月後には高校ラグビーが始まります。中学校と高校との大きな違いは、フィジカルが格段に強くなることです。高校では怪我をしないように体作りに力を入れて、今よりもっと体を頑丈にして、先輩方にも負けぬように頑張りたいです。最後に、私達3年生は、もうすぐ卒業します。そこで、1・2年生の皆さんに、3年生から伝えたいことがあります。まずは、「毎日の積み重ねの大切さ」についてです。例えば、授業を真剣に受けること、提出物を期限までに提出すること、これらは当たり前前のごとくのように思えるかもしれませんが、継続することで、3年生になって必ず自分を助けてくれます。私たち3年生には、「もっと早くからやっておけば良かった」「なんでしなかったのだろう」と思うことがたくさんありました。1・2年生の皆さんには、まだまだ時間があります。その時間を大切に使うてください。中学校生活は、本当にあっという間です。今しなければならぬことを全力で取り組んでください。私たち3年生は、卒業までの残りわずかな時間を大切に、勉強に全力で取り組み、後輩の皆さんに良い姿を見せたいと思います。それぞれの学級や学年のみんなで協力して、充実した3学期を笑顔で過ごしましょう。

